

● 景観形成の目標像

都心部における周辺住宅環境等への影響を極力少なくし、周辺住宅地等との調和を図り、周辺景観の保全に努める。

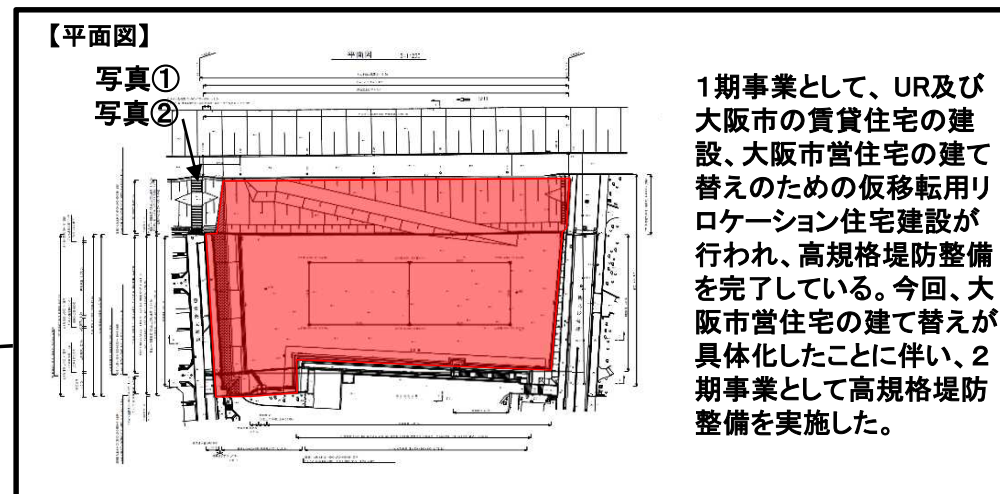


① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

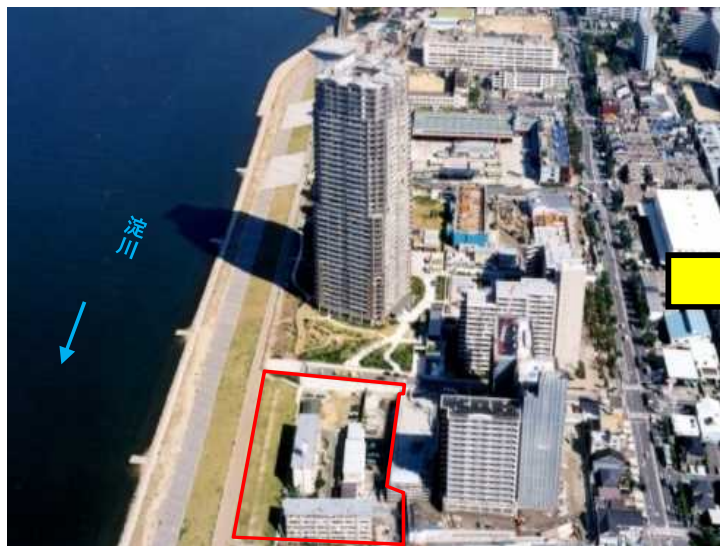
周辺住宅との調和と快適性を確保するため、下流側の擁壁に傾斜をつけて周辺住宅への圧迫感をなくす整備を行った。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

堤内側の擁壁は、住宅に近接しており、近景で目に入るため、周辺と調和させるため、明度を抑え、かつ、直線的で冷たい印象を和らげ、テクスチャー(質感)を豊かにするために、肌理の粗い仕上げとした。



(事業前)



(事業後)



● 景観形成の目標像

景観の大きな変化に留意し、都心部の周辺景観(城北公園、城北ワンド、住宅地等)と調和させる。

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

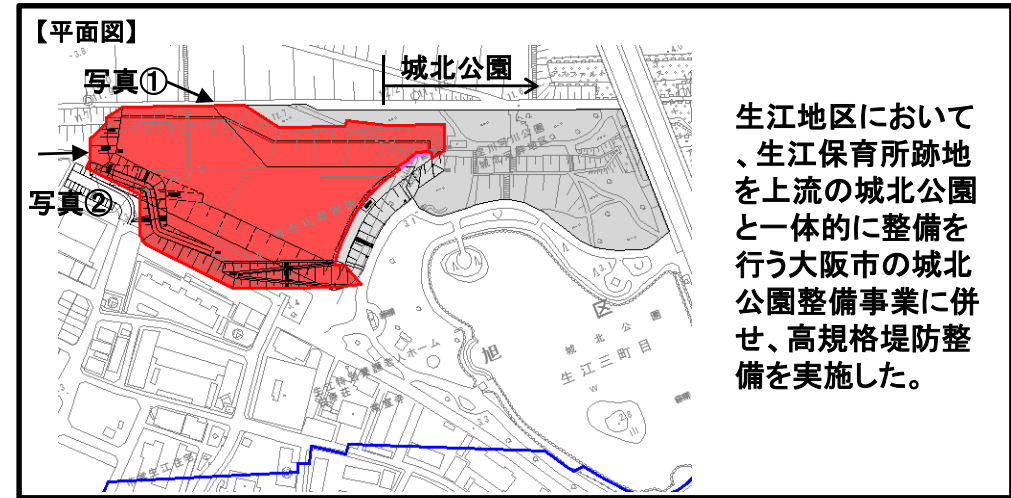
既存の自然景観と調和させ安全性・快適性を確保するため、コンクリートなどの人工的な材料は必要最小限の使用で整備を行った。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

隣接する城北公園の自然景観と調和させるため、堤内地側の盛土端部はコンクリート擁壁を使用せず、法面形状とし緑化を施した。



事業箇所



(事業後)

(事業前)



● 景観形成の目標像

従前の自然景観を保全するため、堤防の連続区間に配慮した違和感のない構造とする。

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

自然景観と調和させ安全性を確保するため、川表側と川裏側の盛土部は法面を1枚法とした。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

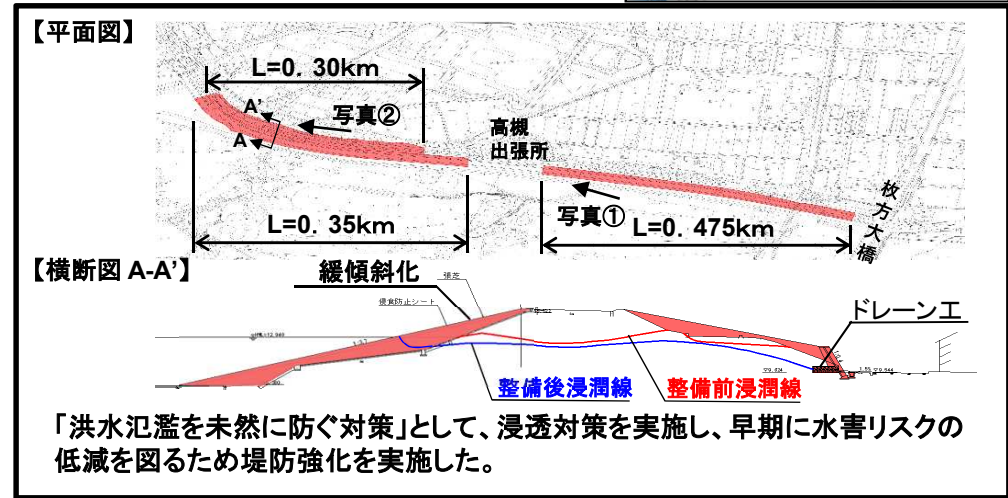
従前の自然景観と調和させるため、既設の構造に近いブロック積み擁壁等を採用した。

(事業後)

(事業前)



事業箇所



● 景観形成の目標像

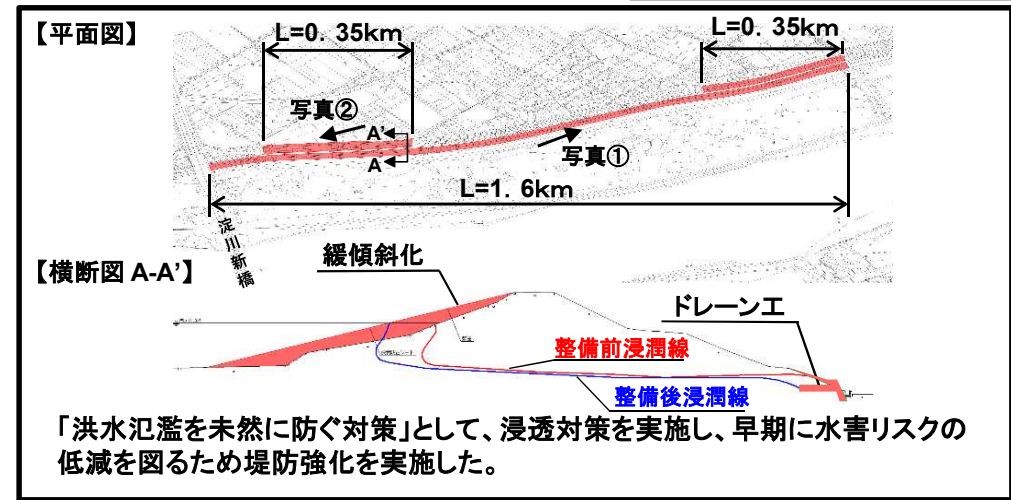
従前の自然景観を保全するため、堤防の連続区間に配慮した違和感のない構造とする。

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

自然景観と調和させ安全性を確保するため、川表側の盛土部は法面を1枚法とした。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

従前の自然景観と調和させるため、既設の構造に近いブロック積み擁壁等を採用した。



(事業後)

(事業前)



● 景観形成の目標像

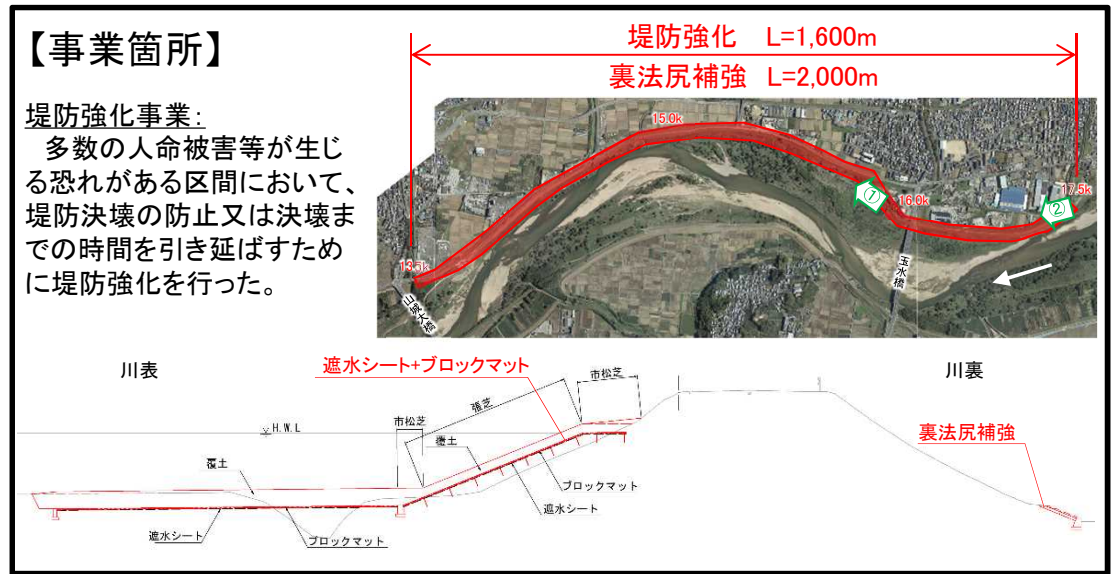
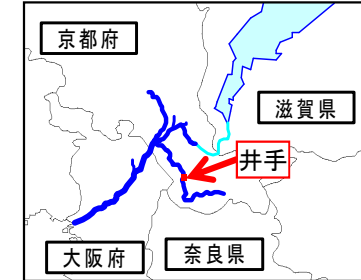
井手地区における木津川の自然豊かな眺望を保全する。

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

河川内には豊かな自然環境があることから、周辺の景観との調和に配慮し、ブロックマットの上から覆土を行い、表面に張芝を行った。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

堤内側は、住宅や田畑が存在していることから、周辺の景観と調和させるため、裏法尻補強部については明度、彩度を抑えた2次製品を使用した。



(事業前)



(事業後)



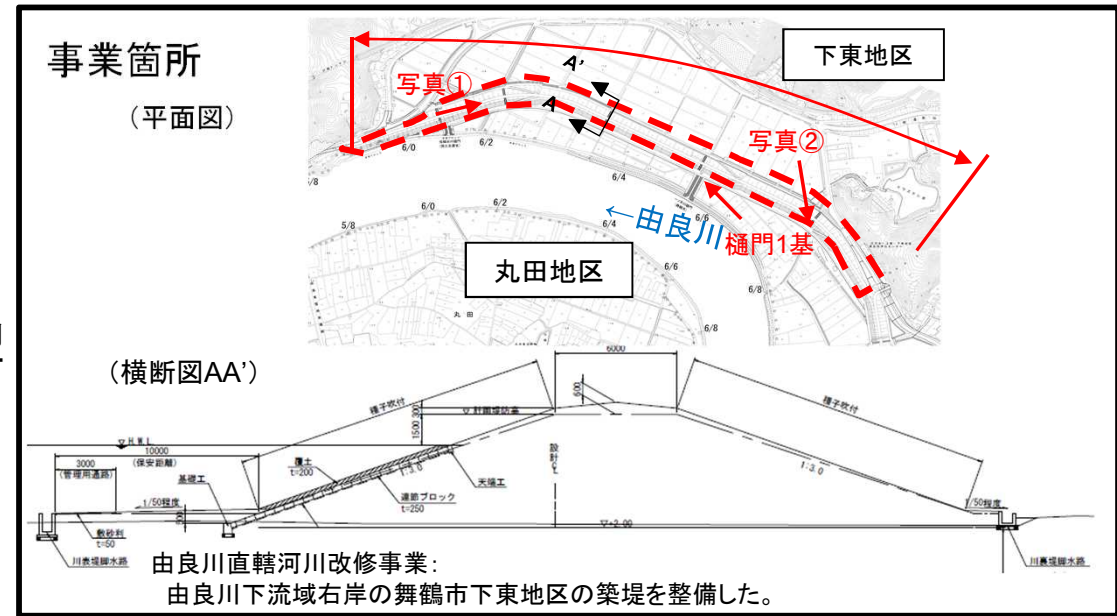


●景観形成の目標像

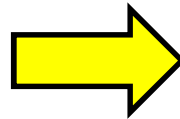
周辺の緑(河畔林、堤防の緑、田畑)と一体化させ、
田園風景に配慮した河川空間を創出する。

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
堤防周辺の水田や畑、対岸側の河畔林との調和
のため、堤防の緑化を行った。

②細部設計、材料等の選定の考え方
自然景観と調和させるため、連節ブロックの覆土型
を採用し、緑化を行った。



(事業前)



(事業後)



● 景観形成の目標像

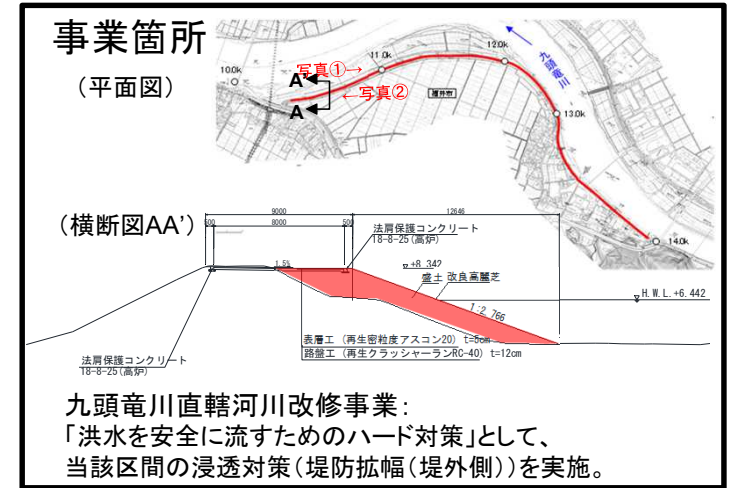
河川及び周辺の自然景観と調和した河川空間

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

周辺の自然景観と調和させるため、現況の法面と同等勾配とし、なだらかに擦り付ける。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

整備による周辺景観への影響を軽減するため、従来の河川堤防整備として盛土部に張芝工を実施した。



(事業前)



(事業後)



現況の法面と同等勾配とし、周辺の自然景観と調和



張芝工を実施し、整備による景観への影響を軽減

● 景観形成の目標像

河川及び周辺の自然景観と調和した河川空間

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

整備による周辺景観への影響を軽減するため、現況の法面と同等勾配とし、既設堤防となだらかに擦り付ける。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

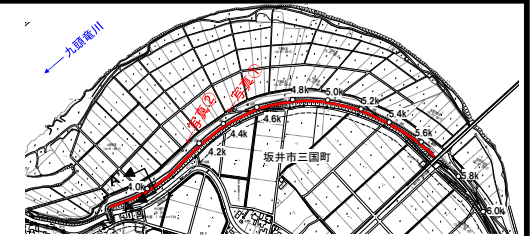
周辺の自然景観と調和させるため、従来の河川堤防整備として盛土部に張芝工を実施した。

福井県 坂井市三国町山岸地先

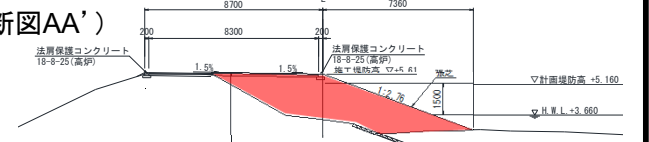


事業箇所

(平面図)



(横断図AA')



九頭竜川直轄河川改修事業：
「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、当該区間の浸透対策(堤防拡幅(堤外側))を実施。

(事業前)



(事業後)



①



現況の法面と同等勾配とし、周辺の自然景観と調和

②



張芝工を実施し、整備による景観への影響を軽減

●景観形成の目標像

家屋や田園景観が混在する景観を基調とした道路空間の形成

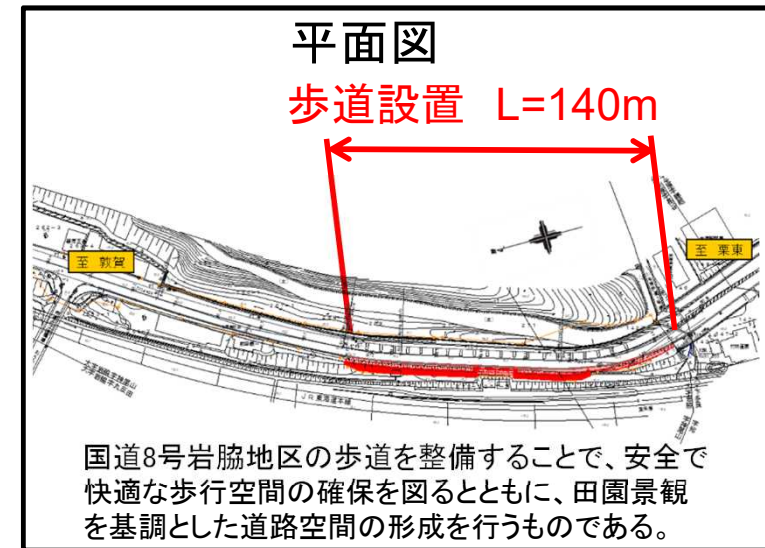


①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

滋賀国道管内景観に配慮した付属物等の整備に関するマスタープランにある色彩計画に基づき、ダークブラウンを採用した。

②細部設計、材料等の選定の考え方

景観に配慮した道路付属物等ガイドラインに基づき、シンプルな形状とするとともに、透過性の配慮、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインや材質を選定した。



(事業前)



(事業後)



● 景観形成の目標像

家屋等や田園が混在する景観を基調とした道路空間の形成

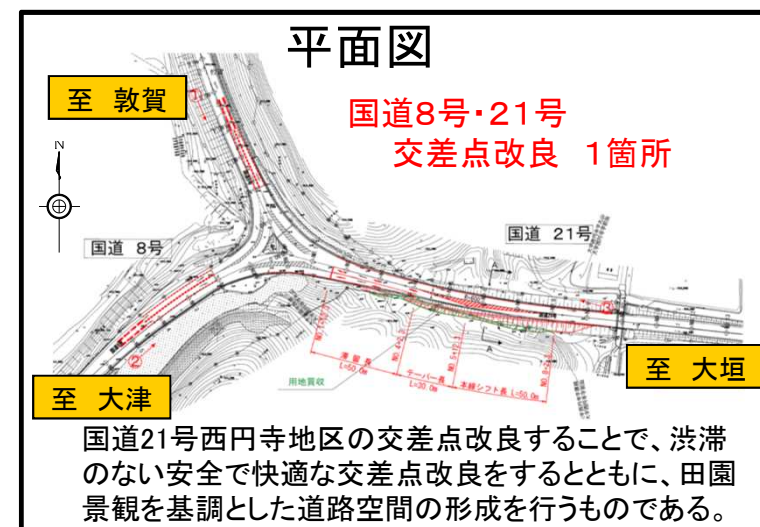


① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

滋賀国道管内景観に配慮した付属物等の整備に関するマスタープランにある色彩計画に基づき、ダークブラウンを採用した。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

景観に配慮した道路付属物等ガイドラインに基づき、シンプルな形状とするとともに、透過性の配慮、存在感の低減、人との親和性に配慮したデザインや材質を選定した。



(事業前)



(事業後)



●景観形成の目標像

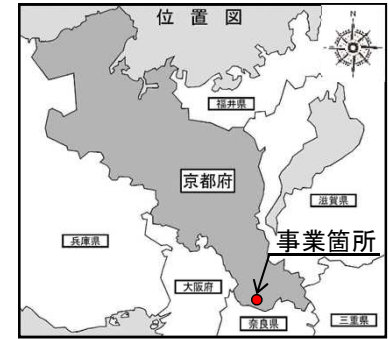
道路直近に位置する文化財・神社に対し、景観的影響を極力減らし、現状の自然環境と調和を図る

①施設空間の規模・形状・配置等の考え方

岡田國神社への圧迫感を軽減するとともに、自然環境に調和させるため、路線選定により、神社からの離隔を極力確保しつつ、周辺地域への景観的影響を軽減できる道路線形・構造を採用した。

②細部設計、材料等の設定の考え方

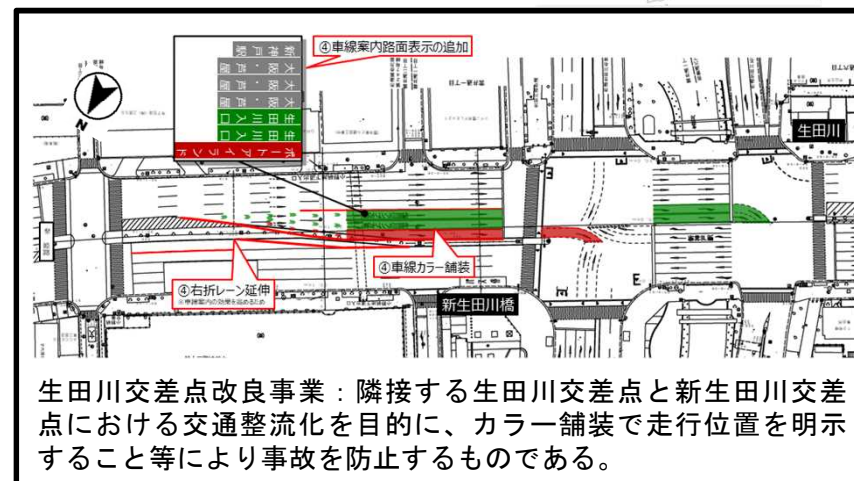
自然環境と調和させるため、法面の緑化、道路施設（防護柵、標識柱等）の景観色（ダークブラウン）の採用、擁壁表面の擬石仕上げなどを行った。



●景観形成の目標像

都市部らしい町並みを保全するとともに、車道部の上下線境界部を明確にし、安全で利用しやすい景観空間を形成する。

- ①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方
周辺空間と上下線境界部の調和を図るため、ガードレールの統一感を確保した整備を行った。
- ②細部設計、材料等の選定の考え方
色彩に気を配り、周辺空間と違和感がないよう配慮した景観色（ダークブラウン）とした。



(事業前)



(事業後)



①



②



●景観形成の目標像

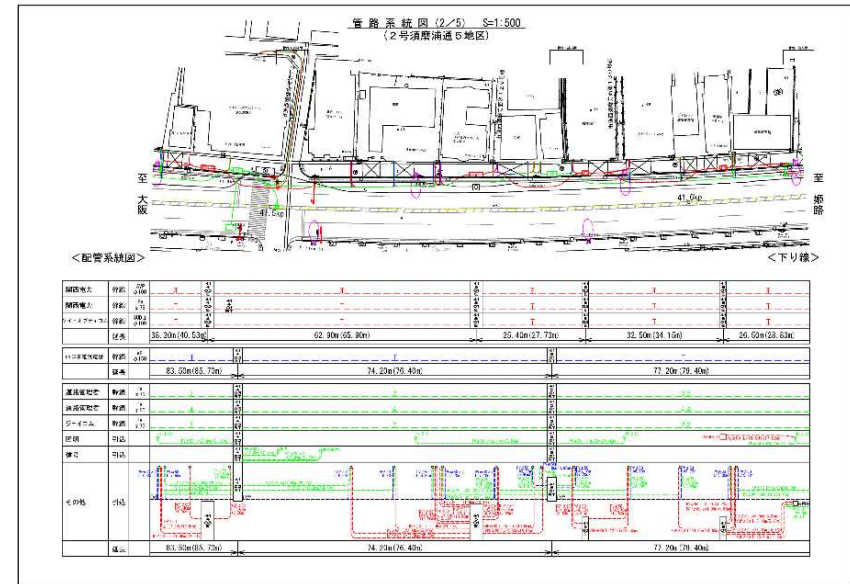
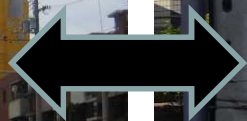
一般国道2号の神戸市須磨区須磨浦通5丁目から一ノ谷町5丁目までの700mを無電柱化を進め、道路から電柱を無くす歩道改修整備

①施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

事業区間内の標識支柱等は新設・更新時に選定した色彩で統一することを検討する。

(事業前)

(事業後)



須磨浦通5電線共同溝事業:災害の防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、電線共同溝を整備した。

● 景観形成の目標像

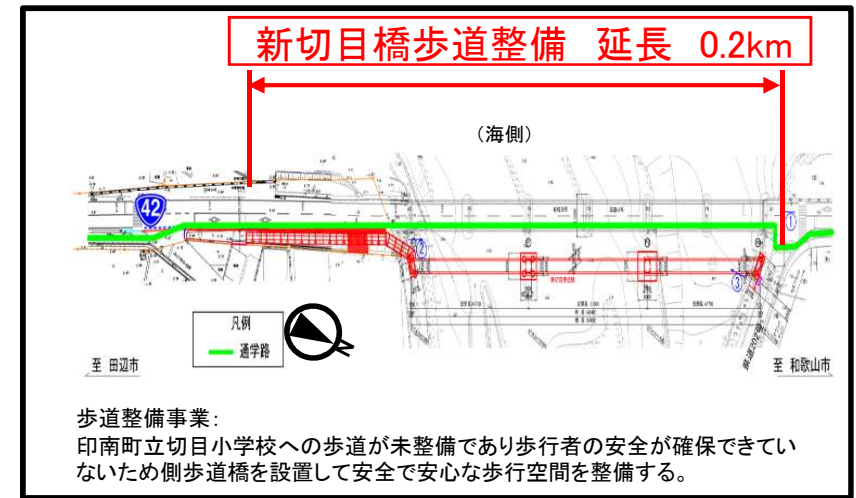
周囲の景観との調和を考慮

① 施設や空間の規模・形状・配置等の設定の考え方

新たな構造物の設置により景観が変化する可能性があるため、色彩的に周辺環境によくなじむように検討した。

② 細部設計、材料等の選定の考え方

高欄の色彩は景観配慮色を基本とし、集落から海をみた景観の変化について地域の方の意見も踏まえ構造・色彩を決定した。



(事業後)

(事業前)

